

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 Plumeria

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		療育の内容、その時の利用人数、環境等によって使用する部屋を分けています。	部屋に仕切りがない為、パーテーションなどの購入も考えていきます。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		利用人数、状況等によって職員の人数を調整しています。職員の増員も検討しています。	利用認数、状況等に合わせて職員を配置していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		子ども達に分かりやすいように視覚支援を利用しています。また、段差等も視覚支援や声かけを行っています。バリアフリーではない。	適した環境、空間になっているかを細目に観察し、子ども達に合った対応を行って行きます。バリアフリーが可能な箇所については、必要時に対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		日々の室内掃除、療育グッズやおもちゃ等を定期的に整理整頓をしています。	子ども達が清潔な環境で安心して過ごせる様に、今後も清掃・整理整頓等、環境作りを行って行きます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		活動等の目標を立て、職員ミーティングで目標についての振り返りを行っています。	定期的に職員で振り返り等を行い、業務改善に努めていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者に事業所の評価をしていただき、職員で共有し業務改善につなげています。	保護者様の評価を受け止め、業務改善に努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		事業所の自己評価を行い、ホームページにて公開しています。	課題・改善等の内容を記載しホームページにて公開します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		現在は、保護者様と事業所のみでの評価となっています。	今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		必須の研修には参加しているが、職員の人数確保が出来ていないこともあり、他の研修には参加出来ていません。	今後研修に参加出来る様に職員の体制を調節し、参加するようにしていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズ・課題を客観的に分析し、児童発達支援計画を作成しています。	今後もニーズや課題等を客観的に分析し、支援計画を作成します。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		標準化したアセスメントシートを作成し使用している。	今後も継続して行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った内容の項目を選択し、具体的な支援内容を立てています。	今後も継続して行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		児童発達支援計画に沿って支援を行っています。	今後も継続して行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		職員全員でプログラムの立案を行っています。	今後も継続して行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		固定化しないように、定期的に見直し工夫を行っています。	定期的に見直し、工夫を行って行きます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個々に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しています。	今後も継続して行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日のシフト表を組み、使用開始前には申し送りを行っています。	支援開始前には打ち合わせをし、漏れ等がないように確認していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		送迎終了後に、必ず申し送りは難しい時もある。その時はLINEを使って情報を共有しています。	今後も職員間での振り返り等を行い、情報共有を徹底していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		毎日支援経過の記録を行い、気になった事等があればその都度支援の検証・改善を行っています。	今後も継続して行っています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		毎日支援経過の記録を行い、モニタリング等で支援の検証・改善を行っています。	今後も継続して行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		普段から子ども達と関わっている職員が参画しています。	今後も継続して行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時は電話等で連携し支援を行っています。	今後も継続して行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行の際には、保育園等に行き直接話をし、情報の共有、理解を図っています。	今後も継続して行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行の際には、学校等に行き直接話をし、情報の共有、理解を図っています。	今後も継続して行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要時は他事業所等と連携を図っています。	今後も連携をはかり、研修にも積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現段階では交流は実施していません。	今後機会があれば、交流会等考えていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		現段階ではまだ参加出来ていません。	積極的に会議等に参加し資質の向上につなげていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの送迎時等に保護者様に利用時に状況を伝え、課題等についても話をしています。	今後も継続して行っています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		現段階では保護者向け研修は行っていません。個別懇談や送迎時にお話しし、対応等のアドバイスを行っています。	保護者様との懇談等は今後も継続していき、研修も今後検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、重要事項の説明を行っています。	今後も継続して行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいて計画書を作成し、保護者様に説明を行い、同意を得ています。	今後も継続して行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの悩み等について適切に応じ、助言・支援を行っています。	今後も保護者様の子育ての悩み等々に寄り添い、助言対応をしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会、保護者会は現段階では開催できていません。	開催の検討をしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口・担当者を設置し、契約時に説明を行っています。また、相談の申し入れがあった際は迅速かつ対応するよう努めています。	今後も継続して行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月新聞を発行し、活動内容や来月の予定を記載し保護者様に配布しています。	今後も毎月新聞を発行し、保護者様に活動内容や予定を配信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の書類等は鍵付き書庫で保管しています。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意をしていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに対しては、視覚支援や絵カード等を使用しています。保護者様に対しては、利用状況を連絡帳や送迎時に情報伝達を行っています。	今後も継続して行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の方との交流は今年度は出来ていません。	今後状況等をみて積極的に交流の機会を作っていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	マニュアル等作成し、誰もが回覧出来るように、玄関に設置してあります。避難訓練の年間計画を立て、毎月避難訓練を行っています。	今後もこまめにマニュアルを見直し、必要があれば修正していきます。また、職員・保護者に周知します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	避難訓練の年間計画を立て、毎月避難訓練を行っています。	今後も色々な災害の避難を想定して、毎月1回は避難訓練を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>	契約時に状況等を必ず確認し、追加等があればその都度連絡をもらっています。	契約時には必ず確認し、確認漏れがないようにします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	該当者がいません。	必要時は、医師の指示書に基づいて対応します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	危険な事等があった際は報告書に記載し、職員間で共有しています。	今後も継続して行っていき、職員間で意見等も出し合い対策等を考え事故防止に努めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	社内ではしているが、外部の研修の参加は出来ていません。	今後積極的に外部の研修に参加し、会議等で社内研修を行って行きます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>	該当者がいません。	必要になった際は、保護者・相談員と十分に話し合い対応していきます。